

## 放送ストリーミング情報収載

### 放送ストリーミング情報【2016No.71】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：ベルリンフィル Digital Concert Hall

作曲家：ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

曲名：交響曲第9番ニ短調《合唱付き》

演奏：ラトル指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/22497>

概要：

2016年3月21日にバーデン＝バーデン祝祭劇場で内田光子のモーツアルトのピアノ協奏曲に引き続いて行われた演奏です。



独唱、合唱は以下の陣容です。

ゲニア・キューマイアー (ソプラノ)，サラ・コノリー (メゾソプラノ)，フローリアン・ベッシュ (バス)，スティーヴ・ダヴィスリム (テノール/ミヘル)，プラハ・フィルハーモニー合唱団，プラハ・フィルハーモニー合唱団

以前に、[放送ストリーミング情報【2015No.23】](#)で紹介したものは、2014年11月9日ベルリンフィル大ホールでのベルリンの壁開放25周年記念演奏会のアーカイブもありますので、聴き比べてみました。こちらの方の独唱、合唱はつぎの陣容です。

クリスティアン・エルスナー (テノール)，サリー・マッシューズ (ソプラノ)，ベルナルダ・フィンク (アルト)，ハンノ・ミュラー＝ブラッハマン (バス)，ベルリン放送合唱団，サイモン・ハルシー (合唱指揮)

2014年11月9日の演奏は、1989年11月9日に東西ドイツ・ベルリンの壁が崩壊し、開放直後の11月12日にベルリンフィルハーモニーで開催された歴史的コンサートで、ダニエル・バレンボイムの指揮によって行われ、その25年後の2014年11月9日に開催されたものです。そういうわけか、実に熱の入った演奏で、ベルリンフィル大ホールに独唱と合唱が力強く響き渡り、低弦のうねりやバスの独唱もライブ感がいっぱいです。

今回のバーデン＝バーデン祝祭劇場での演奏は、第一ヴァイオリンの隣にチェロが位置し、第一ヴァイオリンの後方にコントラバスがあって、4人のソリストはそろって向かって右手の方に並ぶという変則的な配置です。音の方は、ホールの違いか、録音機材の問題なのか、やはりベルリンフィル大ホールの方が明晰で、低弦の響きも良いようです。いずれにしても、場所や配置スタイルを変えて、視覚の助けを借りて音の違いを容易に楽しむことができるのは、画像付きのメリットです。